

令和5年度 珠洲市立蛸島小学校 前期学力向上プラン

年間のゴールの姿

相手に伝わるように、根拠や理由を明確にして自分の考えを表現することができる。

1 授業づくり

(1) 現状と課題 (R)

児童生徒の課題	現状と要因・根拠となるデータ
根拠や理由を明確にした表現ができていない。	<p>[現状と要因]</p> <p>○「から」を手がかりに理由を見つけたり、書いたりできるようになってきた。 △自分の考えを表現しているが、表現したものが文脈に合っているかの判断が不十分である。 →書く条件や目的に応じた内容の表現の指導が不十分であった。 △根拠や理由を明確に表現することに課題が見られる。 →問い返しをしながら、適切な表現のイメージを持たせる必要がある。</p> <p>[根拠となるデータ]</p> <p>R4 検証問題「理由や意見などの条件や目的に応じて正しく表現できる。」69% R4 石川県評価問題 国語1(3)「立場が決まった状況で質問か意見を書く。」(67%) R4 質問紙 38「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表している。」(強肯定17%)</p>

(2) 計画と実行 (P・D)

具体的取組	評価項目	評価
・根拠に線や印をつける。 ・学びを深める問い返しをする。	実施検証 「根拠や理由を明確に表現している」(70%)	84%
	「考えを表現する際に必要などころに線を引いている」(80%) 「根拠や理由があいまいな部分について問い返す」(100%)	91% 100%
	研究授業 「根拠や理由を明確に表現している」(70%)	77%
	全校検証問題 「根拠や理由を明確に表現している」(70%)	57%

(3) 検証と改善 (C・A)

月	評価項目 (誰が, いつ)	結果	取組の成果○・課題▲
4 ・ 5	授業評価表 (授業者 5月30日)	94%	○曖昧な部分への問い返しを意識できるようになってきた。(→継続) ▲線や印をつける際に、該当部分に引くことができていない。(再度、共通理解して継続)
	児童アンケート (検証 5月30日)	77%	
	検証テスト (検証 5月31日)	69%	
6	授業参観シート (研究授業 8日)	71%	○根拠に線や印をつけられるようになってきた。(→継続) ▲根拠を持って自力で表現できていない児童がいた。(→目的意識を持たせるための視覚的働きかけを教師が意識していく。)
	授業評価表 (授業者 30日)	96%	
7	授業参観シート (研究授業 3日)	83%	○相手意識を持たせる問い返しができた。(→継続) ▲相手を意識して、工夫を選び表現することができていない児童がいた。(→相手意識を持たせて表現させることを教師が意識していく。)
	授業評価表 (授業者 14日)	84%	
	児童アンケート (18日)	100%	
	検証テスト (19日)	45%	
	教師アンケート (24日)	97%	



前期 (I期) 取組の成果○・課題▲

○授業では、根拠となるところに線や印をつけられるようになってきた。
 ○児童への問い返しについては、意識してできるようになり、ねらい達成の糸口になっている。
 ▲授業では教師の支援のもと、線を引いて考えられるようになってきたが、検証問題では、内容や条件を把握する力が弱く、自力で根拠や理由を明確にした考えを表現することが難しかった。



2 基盤づくり

目標	具体的取組	評価
相手を見て話を聞き、反応することが出来る。	・「聞き方名人」の大切さを指導する。 →重点的に、「相手に体と目を向けて」「うなづく・返事」を指導していく。 ・5月と7月にアンケートを実施し、授業改善にいかす。(肯定的な割合5月：93%、7月：96%)	○

